

平成24年度 第1回習志野市公民館運営審議会会議録（要旨）

日 時 平成24年7月5日（木）午後2時～午後3時30分

場 所 市役所第4分室 2階会議室

出席委員 藤平委員 齋藤委員 清水委員 山地委員

佐藤委員 池田委員 浅野委員 草野委員

欠席委員 津和田委員

出席職員 植松教育長 早瀬生涯学習部長 市川生涯学習部次長

上野社会教育課長 佐々木菊田公民館長 寄主大久保公民館長

鈴木屋敷公民館長 田久保実花公民館長 瀧澤袖ヶ浦公民館長

関谷津公民館長 織戸新習志野公民館長

議事録署名委員 藤平委員 齋藤委員

○ 委嘱状交付

○ 教育長あいさつ

1. 開 会

2. 委員自己紹介

3. 職員紹介（生涯学習部長）

4. 公民館運営審議会委員の職務について（生涯学習部次長）

5. 議 事

進行：議事の第一は、会長及び副会長の互選でございます。

習志野市公民館管理規則第10条2項に基づき、会長及び副会長を委員の互選により選出していただくものです。委員の皆様にお諮りいたします。会長を互選していただけますでしょうか。

委員：4年間の委員経験とすばらしいバランス感覚を持たれた佐藤委員を推薦します。

進行：只今、会長に佐藤委員というご発言がございました。皆様いかがでしょうか。

— 承認の拍手あり —

進行：それでは、会長を佐藤委員にお願いいたします。

進行：続きまして、副会長の選出をお願いいたします。皆様いかがでしょうか。

委員：会長に一任します。

進行：会長に一任との声がありました。佐藤会長どなたかご推薦いただけますでしょうか。

会長：齋藤委員に副会長をお願いしたいと存じますが、皆様いかがでしょうか。

— 承認の拍手あり —

会長：齋藤委員よろしくをお願いいたします。

進行：それでは、議事に入ります前に、佐藤会長・齋藤副会長よりご挨拶をお願いします。

— 佐藤会長あいさつ —

— 齋藤副会長あいさつ —

進行：ありがとうございました。

これより先の司会進行につきましては、佐藤会長をお願いいたします。

会長：それでは議事に入ります前に、本日の議事録署名委員の選出をさせていただきます。

お手元の名簿上から順にお願いしたいと思います。今回は、1番の藤平委員と2番の齋藤委員にお願いします。なお、議事録につきましては、要約したものを委員の皆様全員に見ていただき、内容確認のうえ署名いただくものとします。

議事に入ります前に、委員の皆様にお伝えすることがあります。この公民館運営審議会は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、会議を公開としております。なお、本日の会議の傍聴を希望される方は1名です。

これより、会議次第にそって議事を進めます。

議事の(1)は、平成24年度公民館の概要についてです。

菊田公民館長から説明をお願いします。

菊田公民館長：共通事業につきましては私の方からご説明させていただき、各館の特徴ある事業につきましては、後ほど各館長よりご説明させていただきます。

平成24年度の公民館の概要についてご説明いたします。

7公民館の職員数は正規職員18名、臨時的任用職員14名、合計32名となっております。

平成23年度の公民館の利用状況は、利用回数 30,915回、利用人数 444,082人です。平成22年度の利用回数 29,676回、利用人数 441,654人となっておりますので、回数で、1,239回、利用人数で2,428人増加となっております。

サークルの状況については、506団体、会員数は8,076人であります。

平成22年度は、504団体、会員数は8,217人であります。サークルの状況には、大きな変化は見受けられませんが、1団体の構成人数が減少傾向にあるように思われます。

公民館の事業については、人生の各段階において必要とされる学習機会の提供につとめています。公民館の主催事業は、事業区分を6領域に設定し実施しており、子どもの発達

段階や子育て支援を対象とした家庭教育、子どもや親子を対象とした少年親子は、子ども広場事業としての位置づけをしています。青年の領域については、事業としては特別計画せず、夜間講座への参加などを視野に入れて取り組んでいます。成人の領域は、各館が特色を生かし、地域で豊かな生活を営むことができるようにするため、自主活動への促進に一層の充実を図りたいと思います。高齢者の領域は、各館で実施している寿学級です。地域活動・文化活動の領域は、市民の皆様との協働事業となっております。

昨年度から、各地域の学校等で音楽会が開催されるようになり、各館の足並みがそろってきています。

平成24年度は、112事業、203学級、809回を予定しております。

1館あたりの平均は、16事業、29学級、115回であります。

平成24年度の予算については、今年度より新習志野図書館が指定管理になった関係で、新習志野図書館の予算が、新習志野公民館に計上され、若干の変動があります。

震災関係の工事のうち、未整備のものは新習志野公民館の駐車場舗装工事のみとなっておりますが、近々着工の予定となっております。新規の工事としては、菊田公民館の屋上防水工事、電灯盤他改修工事、袖ヶ浦公民館の冷温水機整備工事となっております。

会長：ありがとうございます。ただ今のご説明につきまして質疑を受けたいと思います。いかがでしょうか。

会長：新習志野公民館の駐車場工事が近々に予定されているとのことですが、だいたいいつごろになるのでしょうか。

新習志野公民館長：入札後、請負業者が決定し1回目の打ち合わせが終了したところです。予定としては7月20日ころ着工し8月中に完了する予定です。

会長：それでは、ほかに質問がないようですので、次の議題に入らせていただきます

議事の(2)は、平成24年度公民館事業の実施状況についてです、

菊田公民館より順に説明をお願いします。

菊田公民館長：今週の土、日に開催を予定している「きくたこどもまつり」は今年で、34回目となります。ちいさな水彩画教室は、夜間講座として実施しています。文化祭への出品を目指しています。市民企画講座は、震災から学ぶものというテーマを掲げ、環境や平和について考える講座です。資料にはありませんが7月24日から7月29日まで間、飛行家の伊藤音次郎氏の足跡をたどる展覧会を開催し、29日には伊藤音次郎氏の末子である、井上和子氏の講演会を開催します。市内すべての小・中学校にPRをして準備を進めています。

大久保公民館長：子ども講座については、子ども達の理科ばなれを防ぐという観点から、今年度も千葉工業大学の協力を得て、7月29日にロボット工作を実施いたします。子ども自然探検講座は、中央公園を散策しながら動植物の生態や環境について、漫画で描きながら楽しく学ぶものです。6月9日実施しましたが、24名の参加がありました。音楽を楽しむは、民族音楽を体験しながら、その国の歴史や文化を学ぶものです。今年度は、コンサートだけでなく座学も取り入れています。前期はアフリカの文化と民族音楽を学ぶということで、6月22日に座

学を6月30日にコンサートを開催しました。後期は、アルゼンチンタンゴを学ぶ予定です。時事問題講座は、東日本大震災の経験から、防災意識を高めるため、災害が起きた時の備えについて考えていきたいと思います。

屋敷公民館長：何でもトライという講座は、ほたる野の田んぼを借りて春の田植えから秋の収穫、そしてお米の試食を親子で体験してもらい、参加者の交流を図ってもらうものです。成人の領域は、これまであまり公民館を利用したことのない方たちが、参加しやすく生涯学習のきっかけ作りとともに、仲間づくりが図れるよう計画しています。エンジョイニューライフは、デジタルカメラや折り紙クラフト、ノルディックウォーキングなどを学習します。地域協働・文化活動のなかでは、地区学習圏会議、公民館サークル、地元町会の協力を得て、年間を通じていろいろな地域行事を開催しています。春のそば打ち発表会、夏の七夕まつり、秋の文化祭、冬のもちつきカルタ大会などです。地元の方たちの協力を得て、世代間交流を図ってきたいと思います。

実花公民館長：子ども講座は、夏休みに南極からエコを考えるということで、第51次南極観測隊員の長井秀子さんが東習志野地区の学校にいらっしゃるので、子ども対象と一般の方対象で3日間授業をしていただきます。お囃子太鼓は、小学生を対象に、平日の午後4時から実施します。地域のまつりにデビューすることを目標にしています。タウンカレッジ東習志野の街をぶら歩きは、市民と地区学習圏会議会員が企画、実施するもので、1回目は東習志野地区の町工場見学を実施しました。世界と競っている企業がこんな身近にあることを知って参加者の方は感動していました。地区学習圏会議は、地域を知ろうというシリーズを毎年実施しています。今年度は、東習志野の開拓のころの思い出ということで、東習志野在住の一世、二世の方5人にお話を伺います、

袖ヶ浦公民館長：年末年始子ども向け事業は、地域の方たちで実行委員会を組織し、門松づくり、どんど焼き、節分豆まき大会の3事業を実施しております。毎年大勢の参加者で賑わっており、昨年の参加者は3事業合わせて1,750人でした。和太鼓倶楽部については、伝統文化の継承を図ることを目的に、袖ヶ浦地区にある和太鼓そでっ鼓連の皆様を講師として、和太鼓の普及に取り組んでいます。袖ヶ浦地区にとどまらず市内の小学生35名が練習に励んでいます。この講座の集大成として、発表会和太鼓 in ならしのを毎年市民会館で開催し、たくさんの市民の方にご覧いただいております。生涯楽習講座は、市民カレッジOBの方たちが企画、運営する中で年6回実施しています。今年度は、習志野の歴史講座と銚子气象台のバス見学を実施しました。フレンドシップコンサートは、昨年、袖ヶ浦公民館開館30周年にあたり第1回を開催しましたが、今年度より三中学区の小・中学校の演奏会として継続的に実施していくものです。

谷津公民館長：今年度、谷津公民館は開館30周年になります。小さな街の大きな音楽会は、実行委員会を立ち上げるなかで、バラの街音楽会と銘打って、9月22日に向山小学校で開催することとなりました。30周年の記念式典は、市民文化祭のばらコンサートのなかで実施する予定です。恒例となっているロビーコンサートは、出演者を公募し開催しています。今年度は、初夏に贈るサックスメドレーを6月30日に開催しました。

新習志野公民館長：音を楽しむは、新習志野公民館エリアで音楽活動をしている方たちに出演していただき、楽器演奏などいろいろな音楽を楽しむということ、夜間講座として実施します。新習ふれあいパレットは、音楽会やいも煮会などを行っています。いも煮会は山形県出身の方にご指導いただいておりますが、今年は天気にも恵まれ、香澄公園で実施できたら良いと思っています。海辺のコンサートは、昨年度から実施していますが、今年度は、7 中学区の小学校、中学校、津田沼高校、公民館の音楽サークルなどの出演で秋津小学校で開催を予定しています。市民文化祭や生涯学習フェスティバルについては、今年、新習志野公民館が開館 20 周年を迎えるので、それに因んでより充実した行事にしていきたいと思っております。

会長：ありがとうございます。ただいま各公民館より説明がありましたが、これより質疑に入ります。いかがでしょうか。

委員：寿学級については、若い方の参加も見られるようですが、全般的な傾向か、あるいは各館によって差があるのでしょうか。

菊田公民館長：市内の 7 公民館で開催している寿まつりの参加者を見ると、各館とも 60 代の方が見受けられます。

委員：若返りについては、各館で何か工夫したり手法をとっているのか、それとも自然の流れでしょうか。

菊田公民館長：どちらかと言えば、自然の流れだと思います。40 年近く継続する中で人数の減少する時期もありましたが、新しく参加される方も常にあり、現在は、各館とも 25 人から 40 人位の参加者があるようです。人が人を呼んでいるような状況だと思われまます。

委員：先日の、谷津公民館のロビーコンサートは大盛況でしたが、ほかにもイベントを考えていますか。

谷津公民館長：ロビーコンサートはすっかり定着しましたが、今年度は、新しい音楽会の立ち上げに力を注ぎたいと思います。バラの街音楽会ですが、地域の小学校、中学校に公民館の音楽サークルをまじえ、地域の方のご協力をいただき開催したいと思っております。

委員：新習志野公民館では、開館 20 周年を記念したコンサートが行われ、こちらも盛況だったようですが。

新習志野公民館長：このコンサートは、サークル連絡協議会が主催し開催したコンサートですが、新習志野公民館地区出身の方のコンサートで、定員を超える来場者があり、大変好評でした。

委員：大久保公民館の音楽会は、どうですか。

大久保公民館長：大久保公民館の年中行事に、にんじんまつりがありますが、そのにんじんまつりの中でキャロットコンサートを開催しています。しかし、ニンジンの収穫期は 5 月から 7 月であり、そのころは学校行事も多いため、学区内の学校が一堂に会することができませんので、学校等の都合の良い時期を選び、コンサートを開催したいと考えています。

委員：わが家にも 20 代の息子と 50 代の夫がいますが、その辺の世代の人たちが公民館に一番遠い存在だと思います。女性は、家事をしながら公民館でサークルを楽しんでいる人も多いと思います。各館とも夜間や土、日に講座を開催するなど工夫をされていると思いますが、青年

や成人については、なかなかとりこみづらいところだと思いますが、どのような利用状況なのでしょう。

菊田公民館長：昨年、青年対象にベリーダンスの講座を開催しました。若い女性の参加があり、文化祭で発表をしました。青年対象の事業は、30年以上前の青年教室のころから難しく、青年対象とうたっても実際の参加者は青年でないこともよくあります。青年対象をうたわずに青年を取り込むことを考えたいと思います。また、各館においては若いお母さんを対象にした講座を実施しています。

委員：新習志野公民館の男の料理教室は自主サークルでしょうか。

新習志野公民館長：公民館の講座ではなく、50代以上の男性だけの自主サークルです。

菊田公民館長：男の料理教室については、かつては各館で主催講座として取り組んでいましたが、現在は、受講生たちが自主サークルとして各館で活動しています。

委員：私も、退職したころは公民館がどういう所かわかりませんでした。今では楽しく活用しています。公民館を利用している人達が、公民館を利用したことのない人を一人ずつ連れてきてくれたら良いと思います。

会長：つづいて、議事の(3)のその他についてです、予定しているものがありますか。

菊田公民館長：本日は、特にありません。

会長：ほかに質疑等もありませんので、これをもちまして、平成24年度第1回習志野市公民館運営審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

6. 閉会（午後3時30分）

(記録) 袖ヶ浦公民館